

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こぼんはうすくら真岡田町教室			
○保護者評価実施期間	2025年 12月 22日		～	2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数)	21
○従業者評価実施期間	2026年 1月 5日		～	2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 6日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の勤続年数が長く利用児も長い年数通っている為、保護者や利用児との信頼関係を築くことが出来ている。	・相談等しやすい関わりを心掛けている。 ・子ども達が楽しく通うことが出来ることを優先に関わりを持ち支援を取り入れている。	・様々な情報を保護者様に提供出来るよう知識を高めていく。 ・保護者様だけでなく園や学校の担任教諭とも連絡を取り合いながら情報を共有していく。
2	職員の人数が少なく日頃からコミュニケーションを多く取っている為、情報を共有し一貫性のある支援がしやすい環境である。	・毎朝打ち合わせを行い、前日の様子や当日の流れや注意点を共有している。また、記入し午後から出勤する職員も周知出来るようにしている。	・職員が増えても情報を共有出来るようコミュニケーションを取っていく。
3	一人ひとりに合わせた課題の提供や見直しを職員間で定期的に行っている。	・保護者様からの要望に応じながら、取り入れることの出来る課題について情報を収集し提供をしている。必要に応じて手作りの教材の準備している。 ・振り返りを行いながらステップアップ出来るよう努めている。	・引き続き情報収集を行いながら出来る事を増やして行くことが出来るよう支援を行っていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の人数不足	・求人は出しているが応募がない。 ・入職してもすぐに退職してしまう。	・求人を出す先を追加していく。 ・定職出来るよう環境を整えていく。 ・働きやすいような環境整備。
2	部屋が狭く十分なスペースの確保が出来ていない。	・全体的に学年が上がってきている。 ・幅広い年齢の利用児がいる為、危険がある。 ・男の子の割合が多く体を動かしてストレスを解消することが出来ない。	・曜日によって偏りがある為、整備する。 ・下校時間によって外出と室内で過ごすチームに分かれてスペースを確保していく。
3	専門的な知識を持った職員がいない為、専門的な支援を提供することが出来ていない。	・求人は出しているが応募がない。 ・専門的な支援を行う環境が整備されていない。 ・職員不足である為、専門的支援を行う時間を確保することが難しい。	・担当者会議等で情報を得ながら取り入れていく。 ・研修等へ参加し知識を高める。